

品かたしな

議会だより

No. 113 平成19年8月20日発行



PHOTO

花咲地区ふれあいサロンでの1コマ(年齢差90歳)

主な内容

5月臨時議会(平成19年5月15日)議会構成決まる……………	2
6月定例議会で決めたこと(平成19年6月11日～18日) ……	3
村政を問う 6名が一般質問 ……………	4
常任委員会の動き ……………	7
編集後記 ……………	8

◆ 初議会を開催

議会構成決まる



◎ 4年間、精一杯頑張りますので、よろしく
 お願いします。

議長 萩原 日郎

副議長 高橋 正治

議会運営委員会
 議会の運営に関する事項、議会の会
 議規則、委員会に関する条例等に關
 する事項の調査、議案、請願、陳情の審
 査を行う。

委員長 入澤登喜夫
 副委員長 星野 完治
 委員 星 長命
 星野 育雄
 萩原 一志
 星野 千里

総務文教常任委員会
 村政一般、総務、税務、戸籍、福祉、
 保健、保育所、教育他の委員会に属さ
 ない事項に関する事務の調査及び議案
 請願、陳情の審査を行う。

委員長 星野 育雄
 副委員長 萩原 一志
 委員 入澤登喜夫
 吉野 勲
 大竹 文夫
 笠原 耕作
 萩原 日郎

観光産業常任委員会
 上下水道、環境、衛生、農業、林業、
 道路、河川、企画、観光商工業等に關
 する事務の調査及び議案、請願、陳情
 の審査を行う。

委員長 星 長命
 副委員長 星野 千里
 委員 星野 完治
 飯塚 美三
 戸丸 廣安
 高橋 正治

● 利根東部衛生施設組合議会議員

大竹 文夫
 星野 侃三
 萩原 一志
 吉野 勲
 萩原 日郎

人事

◇ 監査委員に中村 康彦氏



引き続きの監査委員で、誠実かつ厳正
 にその職務を遂行してくれることを期待
 します。

◇ 監査委員に星野 完治議員



議会議員の改選に伴い、議会選出の監
 査委員に星野完治議員が選任されました。

議長・副議長 【あいさつ】



議長 萩原 日郎

この度、5月15日の臨時議会において議員各位の推挙を頂き議長に就任致しました。宜しくお願ひ申し上げます

平成の市町村合併論議は最終的に、大半の議員の意向で住民投票を経て自主自立と決定し、早くも2年半、村は第三次総合計画の2年目に入っております。

議会も定数が2人減、14名で3ヶ月余順調に活動して、これからの村づくりに向かってお互いに知恵を出しあい、協力しあっているところです。村の動き、議会の動きにつまましては、折にふれ村民の皆様にお伝えしていく所存ですので、皆様もお気づきの点、村や議会

に望むこと等がありまして、遠慮無く申し出て下さい。それが文字通り村民協働「共同・協同」の村づくりだと思えます。村民多くの皆様にご提言をお願いして議長就任のごあいさつと致します。



副議長 高橋 正治

この度、議員皆様方のご推挙をいただきまして、副議長の要職に就任させていただきますことになりました。

もとより浅学非才であり、その器ではなく責任の重大さを痛感しているところではありますが、誠心誠意片品村発展のために努めさせていただきます。依然として社会情勢が不安定のため、近年の地方を取りまく環境は一段と厳しさを増し、課題も山積しており、それぞれ的確な対応が求めら

れています。こうした中、住民福祉の向上を大前提とし、関係する皆様と力を合わせ議長を中心に議員一丸一体となり、住み良い片品村となりますよう努力をする決意であります。

村民皆様方の温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

《6月定例議会 で決まったこと》

◆条例制定

片品村在宅高齢者等生活支援サービス事業費用徴収条例（全員賛成）

片品村在宅高齢者等生活支援サービス事業の費用に關し必要な事項を定めるもの（全員賛成）

◆条例の一部改正

政治倫理の確立のための片品村長の資産等の公開に關する条例（全員賛成）

群馬県市町村総合事務組合の規約変更に關する協議（全員賛成）

《報告》

*平成18年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書

*平成18年度片品村国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書

*平成18年度片品村介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

人事

教育委員に 星野 和助氏



人権擁護委員候補者に、
小山倫太郎氏

請願陳情審査結果一覧表

請願 6月定例会において審議しました請願陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名及び要件	請願者	付託委員会	審議結果
平成19年 6月1日	公共駐車場設置に關する請願	片品村第2区 区長 西本 芳一	観光産業	継続審査

陳情

受理年月日	件名及び要件	陳情者	付託委員会	審議結果
平成19年 4月24日	特別養護老人ホーム桜花苑の存続に關する陳情	社会福祉法人尾瀬長寿会 理事長 星野 龍男	総務文教	継続審査
平成19年 5月23日	日豪EPA・FTA交渉に對する陳情	食とみどり、水を守る県 民会議議長 坂本 棟男	観光産業	採択
平成19年 5月31日	「最低賃金の改善を求める意見書」提出に對する陳情	群馬県労働組合会議 議長 吉崎 照二見	産業観光	採択

一般質問

議員6人村政を問う

◆人口減少社会への根本的な対応は



吉野 勲議員

問 人口減少社会を迎え、本村における具体的かつ実証的な政策・施策とともに、基本となる考え方・理念についてお聞きしたい。

答 (村長)

平成18年度を始期とする第3次総合計画の少子化対策については、「若者の自立・定住の支援」、「保育の充実」、「家庭・地域における子育て支援」、「母子・父子家庭の支援の充実」の4つの柱からなっている。地方公共団体の責務は、それぞれの法の基本理念にのっとり、国と協力しつつ、各種施策を実施するよう規定されている。今後、各種事業を国・県と協力しながら実施していく所存である。

政策・施策を進めるうえで基本的理念に関して「小さくても輝く村」を目指して、村民一人一人が、生き生きと輝いて生活していけるよう努める。

答 (教育長)

村の学校教育の方針は、「楽しく学び、明るく鍛え合い、豊かな心を育む、片品教育」としている。

家庭教育については、我が国では、慎重に取り扱いあまり踏み込まないという姿勢を取ってきた。しかし、先般教育基本法が改正、10条で家庭教育の条項が新設され子育ての第一義的な責任は家庭にあると考えると考えられている。教育委員会でもあいさつ等で話しをし、理解をいただく努力をしている。

地域教育は、地域の伝統的な文化の大切さや新しい文化の芽の支援をしていくことである。

片品の小中学校を出て良かった。片品に住んで良かったということを目指していきたい。

◆活力ある循環型社会の構築を



星野 千里議員

問 21世紀は、地球規模の環境を守る社会を実現しなければなりません。循環型社会では、資源の再利用や再資源化が必須です。片品村の具体的な方法と取り組みについて、伺いたい。

答 (村長)

循環型社会の構築は、ゴミ処理の優先順位を、ゴミの削減・再利用、再生利用と定め、循環型社会に向けて村民・事業者・行政がそれぞれの立場に立って取り組むことが大切であると考える。

問 尾瀬の単独国立公園化に向けて、ますますこういった取り組みが、片品村に必須ではないかと思えます。尾瀬というのは、ゴミの持ち帰り運動の発祥の場所でもあります。国も、バイオマスタウン構想を掲げ調査研究する自治体に対して、その予算を出しています。是非そういったかたちで全国にアピールしていただければと思います。

答 (村長)

バイオマスタウンの関係では、希望すると言うことでよろしいですか。

◆活力あるむらづくりに向けて

問 総務省は、「頑張る地方応援プログラム」として市町村に限り特別交付税として3年間支援を行うとしています。片品村としては、この「頑張る地方応援プログラム」について、どのように考えているのか？

答 (村長)

地方交付税制度改革の一つである「頑張る地方応援プログラム」は、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対して、地方交付税で支援措置を講ずるというものであり、片品村では、「尾瀬の郷オゾン・シアタープロジェクト」、「尾瀬の郷ライフプロジェクト」、「グリーン大作戦 ごみのない片品村を目指して」、「光プロジェクト」の4件を応募した。千里議員ご指摘のように、自主自立を重視した村としては、これらの施策を始め議員の皆様や村民全体の協力を得ながら活力に満ちた村づくりを目指さなければならぬと考えています。

◆尾瀬ロτζジ・オグナ武尊について

問 片品村も花の駅を始めとして、指定管理者制度の導入を進めています。尾瀬ロτζジ・オグナ武尊について、指定管理者の導入に向けた現状について伺いたい。

答 (村長)

尾瀬ロτζジについては、施設の老朽化が目立っており、解体費用を考えると指定管理者制度では、根本的な費用削減にはならない事から、公的な機関を対象に譲渡を前提として相手先を模索している。

オグナ武尊スキー場については、特にリフト等が老朽化してきて、これに伴う修繕や改修など費用負担が大きく、厳しい経営状況となっている。経営の方法によっては地域に与える影響が大きいことから今後どのような方法がよいか慎重に検討していきたい。

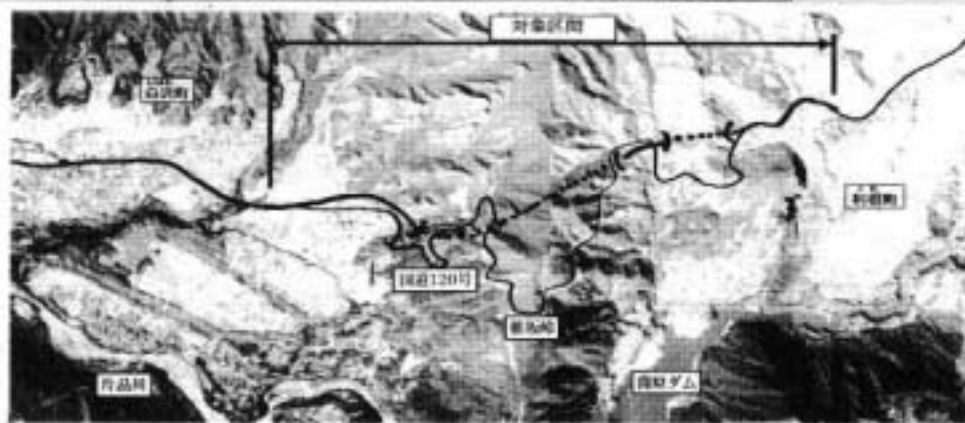
◆ 椎坂バイパスの 早期開通対策は



星野 育雄議員

■ 道路計画条件

- ・道路規格 第3種第2級
- ・設計速度 V=50Km/h
- ・道路幅員 w=10.25m(車道7.75m+歩道2.5m(トンネル区間2.0m))



椎坂トンネル計画図

問 椎坂峠のトンネル化は片品村の発展にとって絶対に実現しなければならぬ最重要課題です。今後5年間にできなければ中止になるかもしれません。群馬県は全地権者と用地交渉を進めてきましたが、いまだに白沢町の数名の地権者の同意が得られず未同意者の土地は測量もできない状態になっています。全体計画と実現のための具体的対策をどのようにお考えですか。

答 (村長)

椎坂バイパスは、本年5月に群馬県が国に対する重要政策要求の中に盛り込み早期完成に向けて努力しています。

問 未同意者の道路用地確保について、どのような対策をお持ちですか。

答 (村長)

地権者が沼田市のため沼田土木事務所、沼田市と連携をとりながら未同意者の協力が得られるよう努力していきたい。

問 片品村と沼田市及び群馬県との協力関係強化策をどのようにお考えですか。

答 (村長)

国道120号線整備改良促進期成同盟会を中心に群馬県、沼田市と情報交換を密にし関係強化を図ると共に、片品村民の協力を得ながら椎坂バイパスが早期実現できるように努力を重ねていきたい。

問 椎坂バイパス道路用地確保交渉に片品村も関係機関と連携を取って積極的に参加するべきではないか。

答 (農林建設課長)

県が事業主体で進めている関係で我々が地権者と個々に会って用地交渉するわけにはいかない。

問 椎坂バイパス早期実現のため今こそ村民の総力を結集して積極的な対策と行動を起こすべきではないか。

答 (村長)

群馬県が事業主体であり事業計画、事業推進は沼田土木事務所が中心になって進めているので片品村はできる協力は何でも惜しまない。

◆ オゾンシアターの の予算・決算は



萩原 一志議員

問 18年度予算説明では、オゾン・シアターの項目は出てこないが、その後の全員協議会で、村長より長期滞在・半定住促進事業というかたちで、オゾン・シアターをやりたいと聞き、「村からの支出はあるか」の問いに「支出はない。月1万円の受講料で賄う。しかし文化センターの使用料を免除することを御理解いただきたい。」という説明だと記憶する。昨年議員だった多くの人たちに確認したところ、このことは共通の認識であった。

実行委員会の18年度決算書を見ると、県・50万円、村・130万円の補助金が記載されている。昨年の説明との違いについて、村長にお尋ねをしたい。次に、収入の部の受講料の部分で、18年6月26日のオゾン・シアター実行委員会の予算額の受講料は、20名かける7万円の140万円、オーディション代20名を上回る数かける3,000円が計上されるべきと考える。それが決算書では、予算額が受講料24万円、決算額が22万8千円とされ、内訳が1人1万2千円かける19名となっている。この矛盾について村長にお尋ねをしたい。

平成18年度募集チラシ

尾瀬の絶 オゾン・シアター

劇団員募集

尾瀬の絶で成長主義を体もつ
長期滞在・平定住してもう一つの人生
50歳以上の人の夢舞台・演劇スクール



尾瀬の絶で成長主義を体もつ
長期滞在・平定住してもう一つの人生
50歳以上の人の夢舞台・演劇スクール

尾瀬の絶 オゾン・シアター案内
〒970-0001 尾瀬国立公園尾瀬センター
〒970-0001 尾瀬国立公園尾瀬センター
〒970-0001 尾瀬国立公園尾瀬センター

尾瀬の絶 オゾン・シアター劇団員募集
尾瀬の絶 オゾン・シアター劇団員募集
尾瀬の絶 オゾン・シアター劇団員募集

平成19年度募集チラシ

尾瀬の絶 オゾン・シアター

劇団員募集

村長と演劇に挑戦を待たすあなたに
尾瀬の絶作品で思いっきり感動
体験する喜びを共に味わおう!



平成19年度募集チラシ「尾瀬の絶 オゾン・シアター」は
尾瀬国立公園尾瀬センターで開催します

尾瀬の絶 オゾン・シアター案内
〒970-0001 尾瀬国立公園尾瀬センター
〒970-0001 尾瀬国立公園尾瀬センター

5. 受講料 月/10,000円

7. 選考方法 (1) オーディション：平成18年9月2日(土)予定。
【オーディション受講料：3,000円 当日徴収】

◎受講料：尾瀬の国立公園単独化記念のため無料

答(村長)

当初は、村・県の補助金と演劇スクールの受講料、入場料収入で計画をした。村は当初予算からオータムジャンボ宝くじ交付金で、県の補助金は、これが村の振興策と認められた補助金。受講料は、善意の寄付金があり、受講者の負担の軽減をした。本年のオゾン・シアターは、「尾瀬国立公園誕生」の記念公演として計画している。

問

実行委員会のメンバーを見るとそうそうたるメンバーであり、予算、決算書を作るのに、またそれを見る方からしてもかなり切れる方たちではないか。この決算報告書について誰もこの予算額、決算額の比較がされなかったのか。村長が会長、教育長が塾長、この決算書を提出する側としての考えを聞きたい。

答(むらぶくり観光課長)

オーディションは定員に満たないため行っていない。寄付金は、18年度の決算書の中に50万円とあるが、最初の子算書では、当然寄付者はいない。始まってから寄付をしてくれる方がいたので、決算書で50万円を報告した。

答(村長)

これは単純な帳簿上のミスであり、当然予算額に載せるはずがない。単純な計算ミスということで、是非理解をいただきたい。

答(教育長)

全体の予算については、実行委員の一人として反省をしている。受講者の方たちは、車の中で寝たり、宿泊費を自分で出したり、たくさんのご苦労があった事を御理解いただきたい。

◆職員の採用はどうなっているか



大竹 文夫議員

問 一人目の新卒採用は、どのような試験を行って決めたのか。

答(村長)

平成19年度は、一般職員の採用を1名とし、広く公募し、5名が受験、教養試験・面接試験の成績最上位者1名を採用した。

問 一人目の観光局長の公募にあたり、面接官をしたのはどのような方だったのかお聞きしたい。

答(村長)

観光協会の事務局長は、臨時で採用している。面接官には、観光協会副会長3名に入っていた。

問 三人目は、給食センターに新規採用として採用された方であるが、この方は長く片品村で臨時で働いていた方であると聞いているが、この方の採用についてお聞きしたい。

答(村長)

給食センターの職員に関しては、臨時職員で採用していた者の中に調理師免許もあり、そしてまた勤務成績も優秀で適任者がいたので職員として採用した。

問 新卒採用の方は、しっかり育て上げていただきたい。観光協会事務局長については、3年という期間では大変であり村・民間の協力体制を整えてサポートしていただきたい。

パート職員は雇用契約もないと聞いている。臨時とパートの方の処遇について、検討を要望する。

答(村長)

19年度の適正化の定員として、108名が示されており、片品村としては、示された数字に沿って削減計画して、職員定数適正化計画に基づき採用していく。

◆ごみの軽量化・再利用・再生利 用は



戸丸 廣安議員



再生ペットボトル

問 (1) 「第3次総合計画」の実施計画でこの点を言及したが、それらの数値目標と達成期限は？ その現状と課題は？

(2) 村は「ごみゼロ」政策を推進するつもりはないのか？ 環境保護と自然共生のシンボルである尾瀬をかかえる片品村こそ、そうした施策の先頭を走るべきであり、その責務にふさわしいのでは？

(3) 生ごみをクリーンセンターで焼く燃さないなどの、ごみ処理費の削減努力や最新工夫は？ 廃油回収の現状とその徹底化による経済効果と(たとえば廃油からガソリン代用油をつくり)村民還元案を、村民にどの位アピールしているか？ その熱意の程は？ 通学用バスを運行させるとか？

答(村長)

片品村は、平成18年12月に一般廃棄物処理基本計画を策定し、平成18年度から5カ年間の基本計画を定めた。本計画は、徹底したごみの排出抑制とリサイクルを中心に据えながら、現在抱えている諸課題に対応するための基本方針を示し、また村民、事業者および村が共通の認識に立ち、それぞれが取り組むべき役割を明らかにした。

本年度は、分別収集対象品目10品目のうち、8品目を収集しており、残りの2品目を早期に回収できるように施設整備や体制づくりをしている。

可燃物の収集品目の中には資源となるものが、ゴミとして搬出されている。資源として出してもらえよう周知徹底を図り、ごみの減量化に努める。

国の家電リサイクル法や食品・建設・自動車等個別のリサイクル法に対して、村民に周知徹底を図り、リサイクル社会の構築に向けて努力をしたい。

現在行っている資源ごみの回収率を上げてゆくことが、ごみゼロへの一歩だと考える。

片品村のごみ処理は、沼田市と利根東部衛生施設組合を通じて行っていることから、村独自で回収方法を変えるのは容易ではない。今後は沼田市と協議し、片品村にふさわしいごみ処理を行っていききたい。

また、ごみの持ち帰り運動や自然保護運動発祥の地である尾瀬の単独国立公園化も関連となり、尾瀬の郷構想を掲げる村として、豊かな自然が保たれるよう努力する。

役場では今年度から庁内に出る雑誌の回収に取り組み、資源としてリサイクルするようにしており、学校や企業に雑誌回収を呼び掛けている。

廃油回収については、廃食用油の平成18年度末の村全体の回収量は504tで、回収対象戸数および事業

所数は307。経済効果としては、処理費用がかからないことと、1t3円で買い取ってもらえる。ほかにメリットとしては、河川の浄化、ごみの減量、温室効果ガスの削減、BDF燃料の製造と利用によるCO2の削減など、その周知に努め、回収率を上げたい。

ごみの減量やリサイクルは、村民ひとりひとりがその意義を認識し、小さな努力の積み重ねが大きな力になると確信している。

(常任委員会の報告)

■総務文教常任委員会



7月2日管内視察(給食センター)

★6月定例議会内の総務文教常任委員会
(平成19年6月13日)

(1) 社会福祉法人尾瀬長寿会桜花苑の存続に関する陳情書「村補助金の復活を検討してください」という陳情ですが、さらなる検討が必要であるという意見が出され継続審査となりました。

(2) 教育委員1名の欠員補充は地域のバランスも考慮して適任者を選し、3月議会までに提案する。

★管内視察（平成19年7月2日）

- (1) 北小学校・ミニ尾瀬、片品小学校・屋内プール、片品中学校・生徒のあいさつ、南小学校・校庭整備、武尊根小学校・木造の校舎と体育館が印象に残りました。各学校の図書室に花咲出身の篤志家 星野徳夫氏の寄付金で購入した「星徳文庫」が設置され生徒に利用されていました。先生と生徒が一生懸命に学んでいる姿を見聞し片品の教育は大丈夫だと感じました。
- (2) 片品村有林は350ヘクタールある。そのうち鎌田字下半瀬、摺瀬字片地、花咲字愛宕山、摺瀬字大久保山分の村有林を視察しました。どこも、良く管理されていたが、一部村有林に個人が植え込んだ所があるのを見受けました。

★検討事項

- (1) 教育委員会 学校施設の計画的整備、学校のパソコンの維持管理費と更新方法の改善、遊具の管理と事故防止、尾瀬高校の存続、村内を巡回するバスの運行、図書館のネットワーキ化。
- (2) 総務課 村有林の登記簿の確認、村有林全体の除間伐の計画的実施。

★まとめ

総務文教常任委員会は総務課、保健福祉課、住民課、教育委員会を所管し、行財政改革、健康と福祉、年金と税金、教育等幅広く重要な分野です。今後毎月一回委員会を開催し委員一同研究を重ね、議会を通して行政施策に生かして行きたいと思えます。

（星野育雄委員長記）

■観光産業常任委員会

公共駐車場設置に関する請願については、新摺瀬橋

完成後の状況により今後検討するとして、継続審査としました。また、日豪EPA・FTA交渉に関する陳情と「最低賃金の改善を求める意見書」提出についての陳情については、全会一致で採択となり関係機関にそれぞれ意見書の提出を行うことになりました。

★6月13日行われた観光産業常任委員会では、付託された請願・陳情について審査を行いました。



7月6日管内視察（オグナ武尊スキー場）

7月6日には、管内視察を行い所管施設の状況把握をしました。視察をした施設については、戸倉ダム中止に伴うまちづくり交付金事業関係・北部浄化センター・尾瀬クリーンセンター・新摺瀬橋建設現場・花咲クリーンセンター・東保（村道7号線）崩落現場・オグナ武尊スキー場等です。その中で特に村道7号線崩落箇所については、直接見学したところ、修復に多額の費用がかかりそうであり、今後の武尊地域の観光振興の影響を考慮しながら対応してほしいという意見がありました。また、オグナ武尊スキー場の営業についても、長引く景気低迷による来場者の減少が続く中、施設の老朽が進み赤字が続いているため、今後のオグナ武尊スキー場のあり方について検討協議がされました。

（星長命委員長記）

● 編集後記 ●

梅雨前線の影響で九州地方を中心に降り続いた雨は床上、床下浸水や土砂崩れ、水道の損壊を各所で引き起こし、避難勧告、避難指示が出されている今日この頃であり、当村においてもこれから台風シーズンを迎えるに当たり十分注意が必要である。

さて、6月定例議会は去る6月11日から6月18日までの8日間にわたり開催され、条例の制定及び条例の一部改正、規約変更、教育委員の任命等が審議され閉会となりました。

また、尾瀬の山開きをはじめ、日光白根山、武尊山、至仏山の各山の安全祈願山開きも盛大に行われ、これから秋までの観光シーズンの盛開けとなり、不況の続く中であるが各自が創意工夫したPRをし、集客に努めて頂きたいと思えます。

一口メモ（熱中症予防）

熱中症は、ここ2、3年の夏の天気予報などでも注意を促すようになりました。地球温暖化の影響もあり、気温が35度以上にもなる地域があるようになり、日本は特に湿度を伴う暑い日が多く、これが熱中症を引き起こす一つの要因にもなります。水分補給の重要性を認識し、ただの水だけの補給でなく塩分を含んだイオン飲料が断然効果的であることを意識し、水分補給を行うことが今後の熱中症事故予防の対策になるでしょう。

（入澤登喜夫記）

発行	片品村議会	会 長	日 郎
発行責任者	萩原登喜	副 長	喜 夫
編集委員	入澤登喜	萩原登喜	萩原登喜
	星 野 一	萩原登喜	萩原登喜
	萩原登喜	萩原登喜	萩原登喜
	萩原登喜	萩原登喜	萩原登喜
	萩原登喜	萩原登喜	萩原登喜
印刷所	片品印刷	片品印刷	片品印刷

お知らせ ◎ 次回定例会 9月6日（木）～14日（金）の予定です。
 一般質問は14日の予定です。みなさんの傍聴お待ちしております
 【問い合わせ TEL 58-2119】